

門徒会館完成!!



ようこそ



(上) 「おかげさまで
ありがとうございました」
感謝の思いで住職撮影
(会館竣工式、8月1日)

(左) 手作りの看板を
かけました
(10月16日)

第 17 号
浄土真宗本願寺派
円光寺
〒870-0108
大分市三佐3-15-18
TEL.097-527-6916
FAX.097-527-6949

ゆつくりゆつたりしませんか

今、若い女性を中心に仏教ブームといわれます。この夏九州国立博物館(太宰府)であった「阿修羅展」には連日大勢の人が押し寄せ、書店には仏教書と並んで写経の本が目立ちます。瀬戸内寂聴さんの法話会は満員御礼の盛況ぶりだそうです。

一方、普段のお寺といえますと、訪れる人もなくひっそりとたたずんでいます。年に何度かのご縁にはご門徒衆がお参りされますが、お年寄りを中心にその数も段々と少なくなりまして。

仏教ブームといわれることとお寺の現実とは、あまりにもギャップが大きく、何か別世界のこのように思われます。

バタバタと足早に過ぎゆく日暮しの中で、今の人は心の安らぎや癒しを仏教に求めているのでしょうか、お寺には何も求めていないようです。お寺が単なる法要儀式(葬式法事)の場になってしまっているということでしょうか。

私たちのお寺です。ご門徒皆さんの、地域の方々にも広く開かれた、私たちのお寺です。

私たちの門徒会館ができました。平成二十三年にお迎えする親鸞聖人七五〇回大遠忌のスローガン「世のなか安穏なれ」から「あんのん館」と命名させていただきました。

お寺は湯治場のようなものです。心身ともに疲れた旅人が心と体をゆつくりゆつたり休める所、仏さまのご縁に遇わせていただく場です。仏さまのみ教えはお湯です。ふらっと立ち寄って「いい湯だな」とゆつくりゆつたり、いい湯加減のお湯につかっていたきたいと思えます。

仏さまの大きなお慈悲のおはたらきのなかに安心して、ゆつくりゆつたりしませんか。

ようこそ『あんのん館』へ



会館竣工式・入仏慶讃法要で
あいさつする住職 (8月1日)

浄土真宗のお寺の本堂はたくさんの方がお参りいただけるように、仏さまをご安置する内陣より外陣が広いという特徴があります。本堂は法要儀式を行い、仏さまのみ教えを聞かせていただく、仏徳讃嘆・仏法聴聞の念仏の道場です。

お互いの顔が見える

あんのん館には机とイスを常設しています。全員が座っても二十数人ということで、みんな

で机を囲めばお互いの顔が見えるところがいいんです。

さっそく百華の集いや法話会に利用しています。一方的にお話しするのではなく、一緒に本を読んだり、仏事の疑問質問に答えたり話し合ったりします。



仏教壮年会月例会のようす
(10月15日)

書籍紹介

『愚の力』

大谷光真ご門主のご著作「愚の力」が文春新書から発行され、10月20日より全国の書店で発売されている。「末法の世に生きる現代人よ、愚者になれ」と銘打たれた本書は、現代の課題を明らかにして、「人間中心の考え方」に警鐘を鳴らしながら、具

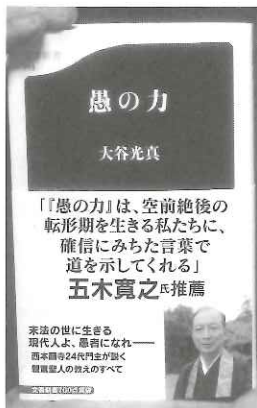


還暦を祝う会
毎年8月15日に開いています

楽しみを共にする

いろいろな趣味の会にも使っていたかと思えます。お寺参りが楽しくなればしめたものです。お寺と聞いて、正座をして話を聞かなければならない所というイメージでは、すすんでお寺参りしたいとは思わないでしょう。皆さんで考えて皆さんで楽しく使っていただけだと思います。

体的にこの時代をどのように生きていくのかを明らかにされています。(本願寺新報より)



世々生々

改革という変革という。現状を改めることにより、より良い方向に変わろうというのである。改革が進めば生活が良くなると、小泉改革は突き進んだ。ところが先の総選挙で、小泉改革は間違っていたと、民主党を中心とした政権交代が実現した。まさに百八十度の転換であるが、これから一体どうなるのか。◆何がどのように変わるのか。悪くなったという人もあれば、良くなったという人もある。人それぞれに改革のとらえ方が異なるのか。その時々政治状況で生活が変わるのでは、私たちは振り回されるばかりである。◆諸行無常という。この世間の物事は一つとして変わらないものはないという仏教の理である。すべては生滅変化するなにかあつて、いつでもどこでも変わらない真実こそ仏の教えだという。仏さまのものの見方である。◆「私が、私が」のものの見方では結局は行き詰ってしまう。私一人では生きていけない。そこにあなたがいる。あなたがいて私がいる。「いつも私が一緒にだよ」と私を喚び続けてくださる仏さまのおはたらき、南無阿彌陀仏とお念仏申して、あなたがいるから生きていける。



第12回盆おどり大会
皆さんで鶴崎踊りを一緒にしました(8月12日)



私も患者!?

この冬大流行が予想される新型インフルエンザのワクチン接種がまず医療従事者から始まったというニュースで、昨日のテレビを観ていて、おやつと思いましたが。看護師さんがお医者さんや看護師さんに注射をしている映像です。

私たちは、医者や看護師は注射をする人で、注射をされるのは患者だとばかり思っています。でも考えてみたら、医療従事者も私たちと同じ人間、インフルエンザの感染対象者としてみんな同じなんですよね。お経を読むのはお坊さんで、



平和を願う鐘つき
終戦記念日に全戦没者追悼法要をお勤めした後、鐘をつきました(8月15日)

お坊さんが読むお経だからこそご利益があるという方がいます。ところが今朝もこうして皆さんとお朝事のお勤めができましたね。ご一緒にお経を読ませていただきました。お経には仏さまの教えが説かれてあります。お釈迦さまが「生きとし生けるものすべてを救う」とおはたらきの阿弥陀さまのご本願を説いてくださいました。親鸞さまは、私たちに「阿弥陀さまのご本願を信じ念仏申さば阿弥陀さまのお浄土に生まれてさとりのお仏さまに成らせていただける」往生浄土の仏道を明らかにしてくださいました。僧侶も門徒もすべての人が阿弥陀さまの救いのめあてと聞かせていただきます。お寺に住まいする住職や坊主は仏道に精通している特別な人ですが、お寺の人は入院患者にた

ご案内

◆御正忌報恩講

11月26日(木) 13:00~15:00
同 19:00~21:00
(子どもほうおんこう)

11月27日(金) 11:00~15:00
同 19:00~21:00
11月28日(土) 10:00~12:00

◆常例法座

12月16日(水) 10:00~11:30

◆除夜会(鐘つき)

12月31日(木) 23:40より

◆元旦会

1月 1日(金) 除夜会に引続き

◆初法座

1月 2日(土) 10:00~11:00

◆常例法座(親鸞聖人祥月御命日)

1月16日(土) 10:00~11:30

◆常例法座

2月16日(火) 10:00~11:30

お朝事にお参りしましょう
▲毎朝6時30分~7時V

とえられます。一方お寺参りの皆さんは通院患者といわれます。迷いの世界にあつて苦悩のなかに日暮しする私たちに「仏法を聞いて、真実にめざめてくれよ」と仏さまはご催促です。仏法聴聞の大きなご縁の場であるお寺に、入院させられ通院させられお念仏のおはたらきを聞かせていただきます。それほどまでに私たちは自覚症状のない患者・迷いの凡夫であり、だからこそ阿弥陀さまはこの私を救わずにはおかないとおはたらき通しなのです。

お念仏申させていただく身の幸せを思います。共々にお念仏申して今日の一日を始めさせていただきますましよう。(10月20日)



仏弟子としていよいよお念仏申す日喜しをおくらせていただきます

別府別院で帰敬式

9月28日(月)、大谷光淳新門さま(ご門主のご長男)の大本分教区ご巡回のご縁に、本願寺別院で帰敬式があり、十五人のご門徒がおかみそりを受けて法名をいただきました。

たなばたの集い



七夕こども会
水曜学校で七夕飾りを作りました(7月8日)



七夕キャンドルナイトサービス
本堂いっばいに、老いも若きも
大いに歌って踊り明かしました(7月7日)

10月23日(金)秋晴れのもと、円光寺担当で大海組仏教婦人会連盟大会が開かれ、組内17寺から百八十余名の参加で本堂が満堂にふくれあがりました。
大型絵本を使った清胤祐子ご講師のご法話を聴聞させていただき、アトラクションで会員有志が「しんらん音頭」の踊りを披露して大変好評でした。
11年に一度の大事業でしたが、役員をはじめ皆さん協力して準備などお手伝いをいただき、立派にできました。



毎月2回の練習の成果を発表しました

大海組仏教婦人会連盟大会を担当開催しました



仏教婦人会手作りの昼食を
皆さん一緒においしくいただきました(10月1日)

敬 老 会



にこやかに記念撮影
楽しい思い出がいっぱいできました(8月4日~5日)

第29回サマースクール

お彼岸に「岡藩参勤交代の道ウォーク」に同行四人で参加した。竹田から犬飼そして三佐に至る、二日間60キロの旅である。清流に沿い雑木林をくぐって、彼岸花やコスモスが咲く黄金色に実った稲穂の道を、風にふかれて歩く心地よさは最初の頃で、後は最後まで何とか歩き通そうと必死のチャレンジになった。
歩くだけが庶民の交通手段だった頃、お念仏のみ教えもこうして伝えられたのかと、先人のご苦労を思った。

あ と が き



百華の集い「しらぎくの会」修了生の皆さん
記念に特製の式章をさしあげました(9月25日)

しらぎくの華が
咲きました